



実験成果を解説する東北大学大学院の土屋教授。



玉川温泉から水素を取り出す実験が行われました。

発電などに活用 玉川温泉から水素を作る

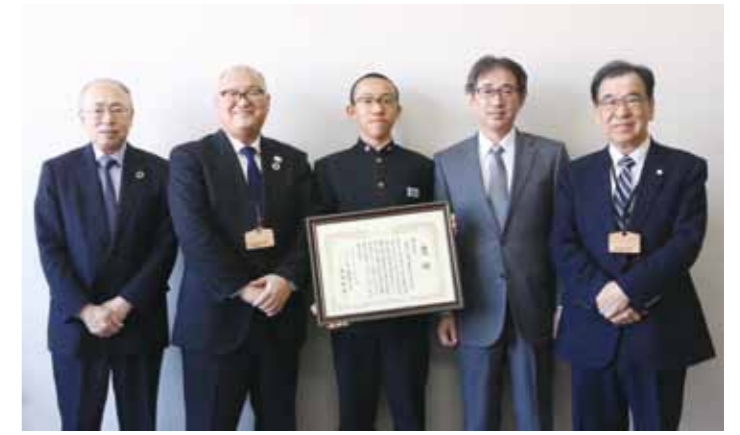
2月26日、玉川温泉の温泉水から水素を取り出す実験成果の報告会が田沢湖総合開発センターで開催され、市民など約60人が参加しました。

この報告会は、東北大学大学院環境科学研究科長の土屋範芳教授が玉川上流部で行っている水素生成実験について解説しました。

土屋教授は、通常の水のように加圧して水温を200度以上に上げなくてもアルミが溶けて大量の水素が発生することを紹介。「作った水素を合金に吸着して保存すれば、災害時の非常用電源として活用できる」と話しました。

会場では、フラスコに入った温泉水に廃アルミを溶かして水素を発生させる実験なども披露され、参加者は興味深げに見ていました。

生保内中学校が優良校受賞
第19回 環境美化教育優良校等表彰



左から、倉橋副市長、門脇市長、新田目真弥さん、佐々木正芳校長、熊谷教育長。

このたび、生保内中学校が「第19回環境美化教育優良校等表彰（主催：公益社団法人食品容器環境美化協会）」において、優良校を受賞しました。

この表彰は、地域社会と連携しながら公共の場所の美化・飲料あき容器などのリサイクルを実践し、地域の環境美化に貢献している小・中学校などが表彰されるもので、秋田県内から唯一の表彰校となりました。生保内中学校は、田沢湖白浜や生保内公園のクリーンアップ、田沢湖畔のごみを拾いながらウォーキングするなどの美化活動を行っています。

2月26日、生保内中学校の佐々木正芳校長と生徒会長の新田目真弥さんが市長に報告に訪れました。

新田目さんは「自分たちだけではなく、先輩たちが続けてきた活動が認められて受賞できました。受賞を励みに、また頑張っていきたい」と話しました。

角館雛めぐり



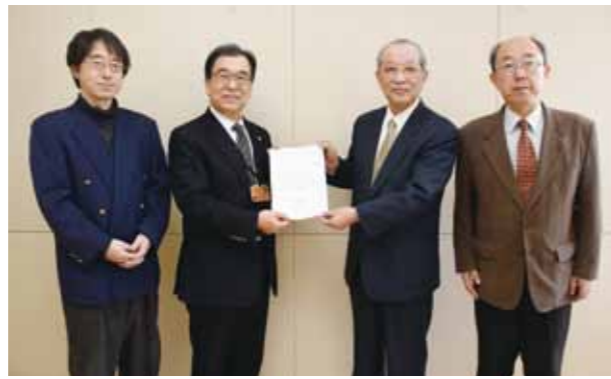
華やかにオープニングを祝いました。

「角館雛めぐり」が2月23日から3月10日まで町内40か所以上で開催されました。

2月23日には、仙北市商工会角館本所「かつらぎ」でオープニングイベントが行われ、子どもたちの歌や手踊り、つきたて餅の振舞いなどが華やかに行われました。

角館雛めぐりは、藩政時代からの楽しみといわれ、現在まで伝えられている享保雛や古雛、角館押絵や土の雛人形などが展示されたほか、スタンブラリーや特別ガイド付きの雛めぐりも行われ、期間中は多くの方々が訪れていました。

学生のために
角館感恩講が
市に寄付金



左から、角館感恩講の田口秀成常務理事、熊谷教育長、加賀谷宏一理事長、河原田次朗理事事務長。

2月20日、一般財団法人角館感恩講（加賀谷宏一理事長）が、市の奨学金事業に役立ててほしいと、市教育委員会に寄付金15万円を贈りました。

同法人では、昭和55年以来、地域の青少年の健全な育成のため奨学金事業を続けており、市教育委員会には平成26年度から寄付を行っています。

加賀谷理事長は「向学心のある学生のために役立てていただければ」と話しました。

食事はしっかり！元気に毎日を過ごそう
上村愛子さんが児童たちと交流



給食を食べながら児童たちと交流を図る上村さん（中央）。

2月20日、元女子モーグル日本代表で「2019 F I S フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会」の大会アンバサダーを務めた上村愛子さんのトークショーが角館小学校で行われ、同校のほか、白岩小学校と中川小学校の5年生と6年生の児童がそれぞれ参加

しました。

トークショーの前には、角館小学校6年松組の児童たちと一緒に給食を食べた上村さん。教室で学校の話やオリンピックの話などをしながら、カレーを食べて交流を深めました。

トークショーでは、5大会連続でオリンピックに出場した現役時代を振り返り「トップ選手になかなか勝てない時、食事のとり方を見直す必要があることに気づいた。食事の指導を受けたり、自らも勉強して、自分の食事のタイミングや内容がわかるようになり、強い選手になることができた」と、食事の大切さについて話しました。

また「1日を元気に過ごすには、朝・昼・夜の食事をしっかりとることが大切。作ってくれた人に感謝しながら楽しく食事をして、元気を毎日過ごして欲しい」と、児童たちにメッセージを送っていました。

河正雄氏が作品を寄贈
館藏品・寄託品展



河正雄氏から寄贈された作品の数々。

平福記念美術館では、2月26日から「館藏品・寄託品展」を開催しています。

この展示会では、平成30年度に寄贈を受けた作品やこれまで披露する機会があまりなかった作品を中心に約80点を展示しています。そのうちの25点は、昨年9月に河正雄氏から寄贈を受けた絵画で今回が初出しとなります。

展示会は4月9日まで開催していますので、この機会にぜひご鑑賞ください。

仙北市
×
内閣府

特区推進共同事務局を設置

2月27日、仙北市と内閣府が国家戦略特区事業を加速化するため、田沢湖庁舎内に仙北市特区推進共同事務局を設置しました。

当日は、開所式が行われ、門脇市長や事務局長を努める国家戦略特区ワーキンググループ委員の岸博幸氏（慶應義塾大学大学院教授）などが、庁舎入り口に看板を掲げました。

今後は、自動走行による交通システムの実現や農業への

近未来技術の活用、水素エネルギーを利用した産業創出など新たな規制緩和の提案に取り組みます。共同事務局には、事務局長のほか市と内閣府の職員計15人が所属。テレビ会議システムなどを活用しながら連携し事業の推進を図っていきます。

門脇市長は「連携を強化し、地方創生に全力で取り組みたい」と話し、岸事務局長は「事務局の開設は、国が改革を進めるという意思表示。責任を果たしたい」と話しました。



田沢湖庁舎の正面玄関に、仙北市特区推進共同事務局の看板が掲げられました。（中央が岸博幸事務局長）

いぶりがっこ販売体験



用意した170個はあっという間に完売しました！

2月27日、神代小学校3年生の児童による「いぶりがっこ販売体験」が、タカヤナギワンダーモール店で行われました。

この体験は、神代地域運営体が地元の特産品を作り販売することで、児童たちの成長につなげようで行われたものです。いぶりがっこは、藤田静夫さんを中心とした指導のもと、3年生の児童が大根の

種まきや収穫、漬け方まで習いながら、神代地域運営体と一緒に完成させました。

当日は「おいしいいぶりがっこです」と、児童たちが大きな声でお客さん呼び込むと『小学校のお漬物 神代小がっこ』のラベルが貼られた商品を買って求めるお客さんで賑わい、約1時間で売り切れるほどの盛況ぶりを見せていました。

いのちを大切に 街頭キャンペーン

3月は「自殺対策強化月間」、3月1日は「秋田県いのちの日」。

傾聴ボランティアえくぼの会、傾聴ボランティアかだれ、仙北市社会福祉協議会、県南地区介護支援専門員協会、仙北警察署、大仙保健所、市職員が3月1日、タカヤナギワンダーモール店、ビブレ田沢湖店、よねや角館店の協力を得て「おとちちゃん眠れてる？」と印字されたトイレットペーパー、リーフレットなどを配布し、心の健康と自殺予防を呼びかけました。



買い物客に「いのちの大切さ」を呼びかけました。



そもそもドローンって… 播磨 靖之



皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の播磨です。冬でもドローンの飛行訓練は週20時間、最近、『あつ！ドローンの人だっ！』と声をかけてもらえる回数が増えました。

【ドローン】という単語もほとんどの方がご存知のようで、大変嬉しい限りです。ところで皆さん、そもそもドローンって名前はドコからきたんでしょうか？ハチの飛ぶ音に似ている説もあります…。

ドローンは元々、軍事目的に開発されたというのをご存知でしょうか。操縦する人は、作戦指令室みたいな所で操縦する感じで、無人飛行機が戦地までビューンって飛んで行って、偵察したり、攻撃するヤツ。映画とかでよくありますよね。ちなみに、僕の中で軍事ドローンが出てくる印象的な映画と言えば、2007年公開の『トランスフォーマー』です。

- 小・中学校の部
 - ◇ 仙北市長賞 若生美空
 - ◇ 新潮文庫賞 角館内中学校2年 山山美々
 - ◇ 角館図書館後援会長賞 神代小学校4年 妻野輝誠
 - ◇ 仙北市教育長賞 西明寺小学校2年 門脇隼男
 - ◇ 入選 小学校低学年の部 角館小学校1年 堀部瑠花
 - ◇ 入選 小学校中学年の部 西明寺小学校2年 水戸谷康佑
 - ◇ 入選 小学校高学年の部 西明寺小学校3年 橋本悠晴
 - ◇ 入選 小学校4年 藤井咲那
 - ◇ 入選 小学校高学年の部 西明寺小学校5年 佐藤ひかり
 - ◇ 角館小学校6年 渡部悠空
 - ◇ 白岩小学校6年 辻谷翔大
 - ◇ 入選 中学校の部 角館中学校1年 鎌田宇朗
 - ◇ 角館中学校2年 武藤涼子
 - ◇ 佳作 小学校低学年の部 西明寺小学校1年 島山芽依
 - ◇ 西明寺小学校2年 佐藤大雅
 - ◇ 西明寺小学校2年 佐藤理姫
 - ◇ 佳作 小学校中学年の部 神代小学校3年 鈴木麗魅
 - ◇ 神代小学校3年 平岡結季
 - ◇ 佳作 小学校高学年の部 西明寺小学校5年 羽崎ことあ
 - ◇ 生保内小学校6年 田口結愛
 - ◇ 佳作 中学校の部 神代中学校1年 平岡純奈
 - ◇ 西明寺中学校1年 佐藤優美
 - ◇ 角館内中学校1年 浅利菜羽
 - 高校の部
 - ◇ 仙北市長賞 角館高校1年 田口芳美
 - ◇ 新潮文庫賞 角館高校3年 手代木ひかる
 - ◇ 角館図書館後援会長賞 角館高校3年 森永ののか
 - ◇ 仙北市教育長賞 角館高校3年 浅利陽菜

平成30年度仙北市読書感想文コンクール審査結果

- (学校名・学年・氏名 ※敬称略)
- ◇ 入選
 - 角館高校3年 小林夏夢
 - 角館高校3年 佐々木彩乃
 - 角館高校3年 鈴木優里
 - 角館高校3年 三浦優衣
 - 角館高校3年 高橋木乃実
 - ◇ 佳作
 - 角館高校2年 熊谷颯一郎
 - 角館高校3年 小野春奈
 - 角館高校3年 兵藤鈴夏
 - 角館高校3年 加藤明日香



たニックネームで、本名はドナルド・チャックというらしいです。ドローンの話からスタジオリブリにつながるっですごく面白いですが…！

さて、だいぶ前置きが長くなってしまいました。こんな話も交えながら、ドローンについての正しい知識と技術を身に付けてもらうためのドローン講習会を1月と2月に開催しました。ドローンの構造から操縦体験までを、ギョッと凝縮してお伝えしました。また、個人のFacebookアカウントで周知していますが、定期的に角館交流センター多目的ホール(体育館)で、ドローンの飛行練習会を開催しています。貸出用のトイドローンもありますので、ドローンについて「知りたい・見たい・飛ばしたい」と思ったら、気軽に遊びに来てください。

最後に私たち日本人と、海外の皆さんとは『ドローン』と言われて連想する物は少し違っています。最初にお話ししましたが、海外の皆さんは『ドローン』と言われると、飛行機型の軍事ドローンのような物を連想するそうです。では、私たち日本人が連想する『ドローン』は、海外では何と呼ばれているのか？その答えは…僕を見かけた時に聞いてください。